

CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者: 関谷 道徳

編集者: 情 宣 部

2022春闘 昇給係数「4」実施 職場の声は？本音はどんなの？



- 年明けの経団連の会合で、うちの会社の会長のコメントを聞く限りベースアップも定昇も昨年と同じかと思っていた。粘り強い交渉の成果だと思う。
- 春闘が始まる前から「今年も係数2じゃないか」といった噂話が出回っていた。さすがに今年も係数2だったら働くモチベーションも一層下がる所だった。
- 今年から子供が進学で費用が心配だったが、少しは明るい話題を家族に報告できるかな。
- 今年の春闘は組合事務所であれこれ作成するなど、いつも以上に質上げというものを身近に感じられた。4係数勝ち取れてよかった。来年、収入が上向けばベースアップを要求すべき。
- 定昇係数2と4では、生涯賃金にすると大きい。4係数勝ち取れたのは成果だが、昨年の2係数の格差をどうやって取り返していくのが大事！

• 確かに4係数を勝ち取れたのは嬉しいが、怒涛に押し寄せる会社施策を担っている身としては割に合っていない気がする。

• 「4係数を実施した会社に感謝しなきゃ」といった風潮があるのは気持ちが悪い。

• 物価上昇がヤバイ。「4係数だから昨年よりは良い」では済まされない。家計は未だ大打撃。世界情勢も考えると夏季手当や期末手当を手厚くしてもらわないと困る。



今の職場に不安や不満、ありませんか？声に出さなきゃ変わらない！ご意見、お聞かせ下さい！